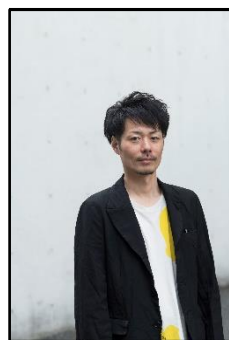


別紙 アーティスト

アーティストは派遣先の地域でワークショップを行う講師を務める他、実施団体の企画する事業の内容について、実施団体担当者と共に検討を行うコーディネーターの役割も兼ねます。



多田 淳之介

演出家、
東京デスロック主宰

©平岩亨

1976 年生まれ。神奈川県・千葉県出身。演出家。東京デスロック主宰。現代を生きる人々の当事者性をテーマに古典から現代劇、ダンス、パフォーマンス作品まで幅広く手がける。地域、教育機関での子どもや演劇を専門としない人との創作、ワークショップ、韓国、東南アジアとの海外コラボレーションなど、演劇の協働力を軸にボーダーレスに活動する。2010 年より富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督に公立劇場演劇部門の芸術監督として国内歴代最年少で就任、3 期 9 年間務める。2014 年『ガモメ カルメギ』が韓国の第 50 回東亜演劇賞演出賞を外国人として初受賞。東京芸術祭プランニングチームメンバー。APAF アジア舞台芸術ファームディレクター。青年団演出部。四国学院大学、女子美術大学非常勤講師。おもな演出作品に『再生』『ガモメ カルメギ』『ハッピーな日々』『BEAUTIFUL WATER』など。



田上 豊

劇作家・演出家、
田上パル主宰

劇作家／演出家／田上パル主宰。富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督。1983 年熊本県生まれ。桜美林大学文学部総合文化学科卒業。在学中に劇団「田上パル」を結成。方言を多用し、軽快なテンポと遊び心満載の演出で「揺らぐ人間像やその集団」を描き出すのを得意とする。劇団外でも、高校生、大学生とのクリエイション、市民劇団や公共ホール事業への書き下ろし、国際共同クリエイションなど、様々な形で活動を展開。特に近年では、全国各地の高校生と精力的に作品創作を行い、地域性を生かした演出法には定評がある。また、創作活動と並行して、創作型から体験型、育成講座まで幅広くワークショップも行う。青年団演出部。奈良市アートプロジェクト舞台芸術プログラムディレクター。



有門 正太郎

演出家・俳優、
有門正太郎
プレゼンツ主宰

1975 年生まれ北九州市出身。倉本聰主宰「富良野塾」、泊篤志代表「飛ぶ劇場」を経て、2005 年「有門正太郎プレゼンツ」を始動。「笑顔になれば何でも出来る」を合い言葉に作、演出も務め全国でワークショップやアウトリーチ活動も行っている。俳優では様々な全国ツアー公演等に参加。高校演劇専科での講師経験を活かし、北九州芸術劇場「日韓合同キャンプ～チャレンジ！えんげき～」の総合演出等も務める。役者として主な出演作品、富良野塾公演『今日、悲別で』『走る』（作・演出：倉本聰）、北九州芸術劇場プロデュース『錦鯉』（作・演出：土田英生）『江戸の青空』（作：千葉雅子、演出：G2）、時空の旅『シラノ・ド・ベルジュラック』（演出：永山智行）など。



福田 修志

劇作家・演出家、
F'sCompany 代表

1975 年生まれ、長崎市出身。長崎大学教育学部卒。1997 年に F's Company（フーズ・カンパニー）を旗揚げし、以後、作・演出を務める。現代社会の中に潜む人間の弱さを寓話化して描く作風が特徴。長崎市主催の市民参加型舞台にも深く関わり、九州圏内の学校や地域での演劇ワークショップの講師や外部脚本の執筆、地元 TV やラジオの CM 出演なども行っている。代表作『マチクイの詩』（第 15 回日本劇作家協会新人戯曲賞最終選考作品）、2009 年度～長崎市自主文化事業『演劇による表現力育成事業』の講師、2011 年度文化庁『次代を担う子どもの文化芸術体験事業（派遣事業）』の講師。



ごまのはえ

劇作家・演出家・
俳優、
ニットキャップシア
ター代表

1977 年大阪府生まれ。劇作家、演出家、俳優。佛教大学在学中より演劇をはじめ。1999 年自身が劇団代表となって「ニットキャップシアター」を設立。以来、京都を創作の拠点に日本各都市で公演をおこなっている。作品には民族楽器の演奏や独自の身体表現が使われ、時に「わかりづらい」といわれる時もあるが元気に活動をつづけている。また近年は「古事記」にあるエピソードをもとに物語をつくっている。2004 年『愛のテール』にて OMS 戯曲賞大賞受賞。2005 年『ヒラカタノート』にて OMS 戯曲賞特別賞受賞。2019 年『チェーホフも鳥の名前』が第 64 回岸田國士戯曲賞最終候補に選ばれる。特技はムックリ。一般社団法人毛帽子事務所所属。

<アドバイザー> 内藤 裕敬（劇作家・演出家、南河内万歳一座座長）
岩崎 正裕（劇作家・演出家、劇団太陽族代表）